

現代アメリカ文化の中の固有名詞

山田政美*・田中芳文**

Masayoshi YAMADA and Yoshifumi TANAKA
Proper Nouns in Present-Day American Culture

[キーワード：固有名詞，商品名，アメリカ英語，アメリカ文化，社会言語学]

[序論]

英語の言語文化に係わる日本人にとって、最も厄介な分野が各種の固有名詞であることは山田（1982）以来再三にわたって指摘したところである。最近では、山田（1995）で *Bounty* のあまりにも誤った解釈についての例を取り上げた。¹⁾あるいは、山田（1996）において日常的に固有名詞の解釈とその翻訳に携わっている翻訳家がどのような問題を抱えているかも、実例を挙げて示した。

田中（1996a, 1996b）は、医療現場が舞台になる現代小説などに現れる固有名詞を検討したが、もはやこの分野の言葉も一般の言語生活とは無縁だとは言えないことが分かり、正確な解釈を与える必要がある。²⁾

逆に、一般語から固有名詞（この例は商品名）へ遡及することもある。

My first morning going back to work was weird. I was up at the crack of dawn, getting all Jeremiah's stuff packed in the diaper bag. I must've packed at least fifteen Pampers, six bottles of formula, baby wipes, rattles, two bottles of juice, three or four changes of clothes in case he spit up too badly - too much of everything. -DA, p. 325 [下線は筆者]

職場復帰の第1日目は、本当にキツかった。まだろくに夜も明けていない時期に起き、ジェレマイアの荷物を片っぱしからおむつバッグに詰め込む。パンパースを15枚、フォーミュラを6瓶、お尻拭き、ガラガラ、ジュース2本、汚した場合に備えて着替えを3、4着-

とにかく凄い荷物だ。[下線は筆者]

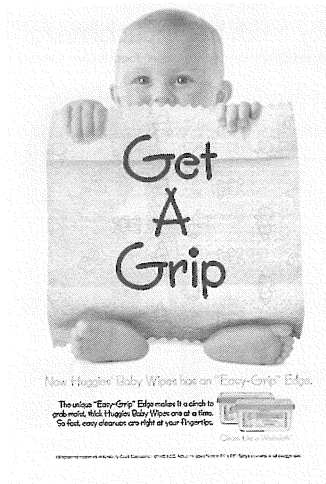
baby wipe を収録した『リーダーズ・プラス』は「赤ちゃん用のウェットティッシュ」、『ランダムハウス英和大』は「ベビーワイプ：赤ちゃん用の使い捨てペーパータオル」と定義した。この英和辞典の定義には疑義があるところだが³⁾、ではこれを商品として売り出すものはどのような商品名のものがあるのかを知る必要がある。例えば、次のようなものがある：

1) Huggies® Baby Wipe

米国 Kimberly-Clark Corp. 製品

Cleans Like a Washcloth [Trade Mark]

サイズは、7.6" × 7.5"



2) Baby Fresh® Gentle Touch™ Softcloths™

米国 Kimberly-Clark Corp. 製品

The strongest wipe has a gentle touch.™

広告の中での商品説明: These revolutionary, stretch-weave wipes from the makers of Baby Fresh® are the strongest wipes ever. But they're incredibly soft and gentle too. Perfect for cleaning babies' delicate bottoms, faces and everything in between.



あるいは、次のような問題もある。イギリス英語文化を理解するためには、著名な新聞各紙がどのような受け止め方をされているのかという意味から考えれば、「含意」(connotation)の問題になる例である (Marc A. Schindler, Spruce Grove, Alberta による⁴⁾)。

The Daily Express

昔のような統治の仕方では国を動かすべきだと考える読者が読む

The Daily Mail

現に国を動かしている者は誰であれ「ろくでもない人たち」(a bunch of bastards)だと考える読者が読む／国を動かしている人たちの奥さんが読者になる新聞

The Daily Mirror

国を動かしていると自認する読者が読む

The Daily Telegraph

国を動かしていると自認する読者が読む／この国がなおも健在だと考えている読者が読む

The Express

国を動かしているのは “aliens” だと考えている読者が読む

The Financial Times

国を所有している読者が読む

The Guardian

自分たちこそ国を動かす者であるとする読者が読む

The Independent

これから国を動かさねばならないと自覚する読者が読む／現に国を動かしている人たちは誤っていると考える読者が読む

The Morning Star

この国はどこか別の国の経営下になるべきだと考える読者が読む

The Sun

誰が国を動かそうと知ったことではないが、大きなおっぱいの女性であるならいい、と考える読者が読む

The Times

実際に国を動かしている読者が読む

The Today

国を動かしていると自認し、しかしこの国はどこかに売却すべきだと考えている読者が読む

我々にはなぜ英語の固有名詞を研究する必要があるのかについては、山田ほか(1983)や、山田(1990a)でも実例を挙げながら論じてきたところである。本論でもまた、

- (i) 各種の固有名詞で、英語文化を反映するものものの実際の例を文字資料で示す、
- (ii) なぜそのような固有名詞が使われねばならなかったかのコンテクストを明確にする、
- (iii) 当該の固有名詞の言語文化情報をより明確にする資料を補充する、

などに留意して論を進めたい。

[本論]

Armor-Allied

“You trying to commit suicide or something?”
Captain Pete Marino said loudly across the
Armor-Allied front seat of his silver Crown
Victoria. —BF, p. 4

「自殺でもする気かよ？」銀色のクラウン・ビクトリアの、つやアーマオールをたっぷりスプレーしたフロントシートから、ピート・マリーノ警部が声をかけてきた。

Armor All は、アメリカ製の、自動車用の保護・つや出し・表面活性剤スプレーであることが山田(1990a)などに収録されている。例文では、[*Armor-All*] [-ed] と、品詞転換(conversion)現象が起こって動詞の過去分詞形として使われている。つまりは臨時語(nonce word)である。

この現象は決して珍しいものではなく、典型的な例は *Hoover* (あるいは *hoover*) に見られる(山田 1990b)。*Kodak* や *Xerox* の例もある(山田 1990a)。⁵⁾

Bob Hope movie

Mrs. Steiner was in the midst of watching an old *Bob Hope* movie on cable. -BF, p. 122

ミセス・スタイナーはケーブルテレビでボブ・ホープの古い映画を見ていたらしい。

Bob Hope は、1903年イギリス生まれのアメリカの喜劇俳優であることは『リーダーズ英和』からでも分かる。したがって、例文でミセス・スタイナーが見ていた古い映画がどのような映画であったか見当がつく。筈見(1993)には *Bob Hope* の写真もある。

著名な映画俳優であれば資料は入手しやすいが、マイナーな俳優の場合には相当に困難になる。

Ross(1996)が、固有名詞の動詞への品詞転換の例として挙げた、

She threatened to *Bobbitt* him. (彼女は、男を「ボビットする」わよ、と脅した)

にある *Bobbitt* は、夫の性的虐待に耐えかねて、夫の性器を料理用ナイフで切り取った事件(1993年6月23日、米国 Virginia 州 Prince William 郡)の若い妻 Lorena Bobbit (24歳)を指す。⁶⁾ つまり、「男性性器を切り取る」という意味で使用したものである。

ところが、Lorena が自動車で逃げる途中に切り取られた部分を投げ捨てていたものを警察が発見し、10時間の手術の結果、接合に成功した。この男性 John Wayne Bobbit さんは、この事件を再現したハリウッドのアダルト映画にも主演することになった。*John Wayne Bobbit Uncut* のタイトルで1994年9月に公開された。彼は、“Ever Since this whole thing happened, all everybody wants to see is my penis... now you can!” と語っている。その後 *Frankenpenis* にも主演した。この名前などは、映画関係の人名録には見つけ難いが、事件簿には登場する、というものである。

Bonnie's found Clyde

(1) “They were connected before. I suspect they met through a spy shop in northern Virginia,” Wesley said. “That is how CAIN was compromised — is compromised. Now it appears the connection has moved to a different level.”

“Yeah,” Marino said. “*Bonnie's found Clyde.*”
—PF, p. 243

「二人は以前からつながりがあった。たぶんバージニア北部のスパイショップを通じて知り合ったんだろう。それで二人でCAINにダメージを与えた。というより、与え続けている。ところが、いまや二人のつながりはこれまでとは違うレベルへ移行した」「そうだ」と、マリーノが言った。「ボニーはクライドを見つけたんだ」

(2) Eileen wondered how the people in this room had been chosen. Was compassion one of the deciding factors? If so, why Halsted and Riley — who looked mean enough to pass for the *Bonnie and Clyde* of law enforcement? — W, p. 45

アイリーンはこの部屋の面々はどうやって選ばれたのだろうかと思った。決定条件のひとつは、同情だろうか？もしそうだとしたら、何でホールステッドやライリーを？いずれも法の執行官側のボニーとクライドといってもとおるような凄みのある顔をしているのに。

米国映画(1967)で、邦題は『俺たちに明日はない』(*Bonnie and Clyde*)に取り上げられた、大恐慌時代の実在の銀行ギャング Clyde Barrow(1911-34)と Bonnie Parker(1909-34)の二人組である。14名を殺害した。二人組の人物を描写するとき、悪名高い者たちであれば *Bonnie and Clyde* を連想させるわけである。とりあえずは Worth(1977)で手掛かりがつかめるが、『リーダーズ・プラス』も映画について収録している。

Bonnie Raitt

I pulled down the visor as if that somehow would alleviate my discomfort, then turned the radio on and switched stations until I landed on *Bonnie Raitt*.
—BF, p. 79

私はいたたまれない思いでサンバイザーをおろし、ラジオをつけた。チャンネルを次々と変え、最後にボニー・ライトに落ち着く。

アメリカの女性ロックシンガー・ソングライター・ギタリスト(1949-)であることは『リーダーズ・プラス』から分かる。ただし、訳者が「ボニー・ライト」としているのは誤りで、正しくは「ボニー・レイット」である。デビューは1971年、アルバム *Nick of Time* で1989年度の、アルバム *Luck of the Draw* で1991年度のそれぞれグラミー賞を受賞した。歌手の John Raitt が父親。

Breitling

Lucy took off her running shoes and shorts, and pulled her shirt and sports bra over her head.

....

Scarcely a minute later, Lucy, not given to modesty either, trotted past me wearing nothing but the *Breitling* watch I'd given her for her birthday. —BF, p. 8

ルーシーはランニングシューズとショーツを脱ぎ、Tシャツとスポーツブラを頭からすっぱり引き抜いた。

[中略]

一分もしないうちに、ルーシーが急ぎ足でそばを通り過ぎた。慎み深さなどみじんも持ちあわせていないらしく、私が誕生日にプレゼントしたブライトリングの腕時計以外に何も身につけていない。

例えば、*Timex* といえば、アメリカで最もよく売れている大衆向きの腕時計であることが分からないと困る。*Breitling* の腕時計とは、山田(1990a)にあるように、スイスの *Breitling* 社製のスポーツ用腕時計である。例文で、スポーツをしていた Lucy が身につけていたことも納得がいく。

Bundy

"I noticed many police outside your room," she observed.

I opened my eyes and looked at her. "He's dicompensating," I said.

Her eyes were fastened to mine.

"And that's good. He's more daring, meaning he's taking greater risks. That's what *Bundy* did in the end." —PF, p. 220

「そういえば病室の外に警官がいたわね」

私は目を開けて彼女をみた。「あいつ、だんだん抑制がきかなくなっているようなの」

アナはしっかり私の目を見つめている。

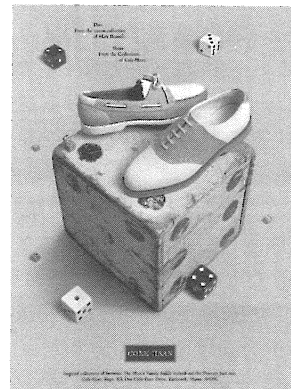
「こちらにとっては好都合と言えるわ。前より大胆になっている、つまり危険をおかすようになってるってことだから。バンディも最後はそうだった」

例文では、事件の犯人を話題にしている場面で、突然 *Bundy* という個人名が引合いに出されている。この作品は Patricia D. Cornwell の検屍官シリーズの6作目であり、第1作目から読んでいけば *Bundy* といえば、実在した殺人鬼 Theodore Robert Bundy(1946-89)のことを指していることが容易に分かるが、そうでないと誰のことなのか見当がつかない。

Bundy の1974年から4年間にわたる女子大生連続殺人事件は、太平洋岸 Washington州から Florida州にまで及んだ。Washington州で7件、Oregon州で1件、Colorado州で3件、Florida州で4件の犯行に及んだ。1989年 Florida州北部の Stark 刑務所で死刑が執行された。“serial killer”(連続殺人犯)であった。

死刑執行の時、刑務所の外では「バンディを黒焦げにしろ」という横断幕を掲げた群集が、執行の知らせを聞いて大歓声を挙げたという。*Bundy* の死体の写真は多くの新聞に掲載された。⁷⁾

Cole-Haan



"Ashes are gray or white. Just look in the fire. We don't wear the same size shoe, not that I'm into *Cole-Haan* or Ferragamo. I did

find a black leather jacket that's really cool. Were you a biker in another life?" - *CU*, p. 87

「アッシュって灰のことでしょ。灰は灰色か白だもの。暖炉の中を見てみて。靴はサイズが違うからちょっと無理ね。もっとも、どっちにしてもあたしコールハーンだのフェラガモの靴をはくつもりはないけど。でも、すごくかっこいい黒い革のジャケットを見つけたわ。おばさん、前世ではバイクに乗ってたの?」

Cole-Haan は、山田(1990a)には紳士靴のブランドとある。創業者2人の名前を付けた Cole-Haan 社の製品である。ここでの例文から女性用の靴もあることが分かる。

Crime Stoppers

"...I plan to get the media to run something so we can appeal to anyone who might have stopped here between five and six that night. And *Crime Stoppers* is going to do a segment on it, too." - *CU*, pp. 60-61

「[前略] いちおうマスコミに何か流してもらって、あの晩の五時から六時までの間に、ここに立ち寄った可能性のある人に呼びかけるつもりだけだな。それから、クライム・ストッパーズ(実際にあった未解決の犯罪をドラマ化し、視聴者に情報の提供を求めるテレビ番組)でも、ワン・コーナー設けることになってる」

正確な番組タイトルは、米国のフリーダイヤル(toll-free)の電話番号800を入れて *Crime Stoppers 800* となっている。30分番組で、1989年秋に放映を開始して1991年まで続き、合計104話になった。ホスト役は Edwin Hart と、現職の警察官2名(Larry Gross 刑事[1989-1990], Marete Edillo 巡査[1990-1991])が協力した。Fox テレビの人気番組の *America's Most Wanted* の焼き直し番組であったが、この番組では犯人逮捕や犯人自白に至る情報の提供があった場合にはその通報者に対して賞金が提供された(cf. Brooks and Marsh 1995)。

Dixie cup

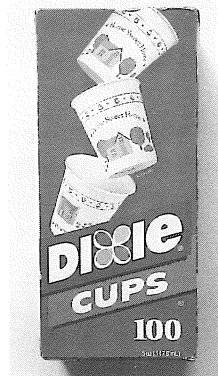
There were four of us at the pool: Eddie

Miller, Don Luchessi, Hank Norton, and me - Larry Dolman. It was just beginning to get dark, but the air was still hot and muggy and there was hardly any breeze. We were sitting around the circular, aluminum table in our wet trunks. Hank had brought down a plastic pitcher of vodka martinis, a cup of olives, and a half-dozen *Dixie cups*. That is one of the few rules at Dade Towers; it's all right to eat and drink around the pool so long as only plastic or paper cups and plates are used. - *SC*, p. 7

プールには、わたしたち4人がいた。エディー・ミラー、ドン・ルチェッシ、ハンク・ノートン、そして、わたしーラリー・ドルマン。あたりは暗くなりはじめていたが、大気は熱がこもって蒸し暑く、微風さえろくすっぽ吹かない。わたしたちは濡れたトランクスをはき、丸いアルミ製のテーブルを囲むようにして座っている。ハンクが、プラスチックのピッチャーに入ったウォッカ・マティニー、カップ入りのオリーブ、紙コップ半ダースを用意した。デード・タワーズで設けられている数少ない規則のひとつがそれだ。つまり、プールで飲食する際には、プラスチックないしは紙のコップ、皿を使用すること。

少なくない辞書がこの紙コップの呼称を収録しているが、書記形式には統一がない。*RHD*² (したがって、『ランダムハウス英和大』も) や *RHWCD* は *Dixie Cup* のみを示すが、*WNWD*³ では、*Dixie cup*、さらに紙コップ一般の呼称に変わって *dixie cup* があることを明確にしているのがよい。

これが商品名であることの辞書の表示はよいが、なぜこれが紙コップであるかは山田(1990a)でなければ分からない。さらにこの種の紙コップについては、“dis-



posable” という意味特性を記述しておく必要がある。

商品名 *Buzza* は、グリーティングカードやパーティグッズを作る *Buzza-Cardoz* (Ohio 州 Cincinnati; Gibson Greeting Cards Inc. の子会社) のもの。あるいは, *SoloCup Co.* (Illinois 州 Urbana) は、紙コップやプラスチックコップ、ふた、プレートなどを作り、商品名は *Solo* とある。写真の *Dixie* の包装箱の商品名の表記を見ると、*Dixie*® と *DIXIE*® (ただし、X は青、黄、緑、赤のクローバーの葉をデザイン化してある) の両方が使われている。

Downey/Downy

“I need to ask him if Minor *Downey* can help us.”

“You talking about a person or a fabric softener?”

“Minor *Downey* with hairs and fibers at the FBI labs. His speciality is feather analysis.”

“And his name’s *Downey*, it really is?”

Marino was incredulous.

“It really is,” I said. — *CU*, p. 201

「マイナー・ダウニーに協力してもらえるように、ベントンから頼んでもらいたいんだけど」

「それ人間かい、それとも布地の柔軟仕上げ剤かね？」

「マイナー・ダウニーって、FBI で毛髪や繊維の鑑定をしている人。羽の分析が専門なの」

「そいで、名前がダウニーっていうのか？ほんととかよ？」マリーノが信じられないという声を出す。

「ほんとなのよ」と、私は答えた。

この場面で、Marino が *Downey* という人の名前と



混同しかけた「(生地)柔軟仕上げ剤」(fabric softener) とは、アメリカ製の *Downy* (Proctor & Gamble 社製) という商品で、詳しくは山田(1990a)にある。

Fendi



マークの由来

フェンディの頭文字「F」を組み合わせてデザイン化したもの。ちなみに、フェントルコ語で、英語の“SIR”に当たることは。

“What about your *Fendi* perfume and pearls?” Do you own a pair of jeans?”

“Help yourself.” I started to laugh. “And yes, I have a pair of jeans somewhere. Maybe in the garage.” — *CU*, p. 87

「フェンディの香水とパールのネックレスは？ジーンズは持ってない？」

「何でも使っていいわよ」私は笑いだした。「ジーンズもどっかにはあるはずよ。ガレージの中かもしれない」

この例文にある *Fendi* について、『ランダムハウス英和大』には「(商標) イタリアの毛皮製品」としか記述されていないが、実際には山田(1990a)にあるように、毛皮製品の他に、婦人服、バッグ、小物類、婦人用カジュアルシューズ、ネクタイ、傘、ベルトなどもある。ここでの例文から香水もあることが分かる。

Filofax

“Empty your handbag,” he said.

She looked at him stonily for a moment, and then she picked up her bag and turned it over, dumping its contents on the seat between them. She buttoned her blouse while he began rummaging through the items on the seat. The sunglasses case, her wallet, her house keys, a package of chewing gum, her *Filofax*, a tube of lipstick, a comb, a hairbrush, a package of Kleenex, a paperback copy of *Howard’s End*, some loose change.... He opened the *Filofax* to make certain nothing was buried in its pages.

— *CC*, p. 334

「バッグの中身をあける」

一瞬、サラは無表情にアンドリュウを見つめ、すぐにバッグを手にとってひっくり返し、ふたりのあいのシートに中身をぶちまけた。アンドリュウがシートの上で品定めをはじめると、サラはブラウスのボタンを留めた。サングラスのケース、財布、自宅の鍵、チューインガムの包み、ファイロファックス、口紅のチューブ、くし、ヘアブラシ、クリネックスのパッケージ、『ハワーズ・エンド』のペーパーバック版、小銭が少々。(中略)ファイロファックスのページを開いて、なにも埋めこまれていないことを確かめる。

翻訳の問題からすれば、このように単に片仮名書きにするばかりのものは最も拙劣な方法と言ってよい。コンテキストから判断しようとしても、翻訳版の読者にはこの「ファイロファックス」が何物であるか、つまりこの女性のバッグの中身の中で特異な物であったのかどうかも分からない。山田(1990a)に詳しいが、『リーダーズ・プラス』にも収録した。英国の商品名で、LDELは写真を入れている。

Fiorinal; Midrin

“What about the headaches?”

“I still get them.” Suspicion shadowed her eyes. “Sometimes the *Midrin* helps. Sometimes it just makes me throw up. The only thing that really works is *Fiorinal*. But I don’t have any of that.”

—PF, p. 129

「頭痛はどうなった？」

「まだときどき痛くなるわ」疑いに目をくもらせて言う。「ミドリンがきくこともあるけど。飲むと吐いてしまうだけのときもある。本当にきくのはフィオリアルだけ。でもそれは持ってないの」

薬品名については、山田(1990a)などにかなり収録されているが、全てを収録することは不可能である。この例文にある2つの薬品についてはAnderson(1994)に収録されている。

*Fiorinal*は催眠鎮静薬のブタルビタル(butalbital)、解熱鎮痛、抗炎症薬のアスピリン(aspirin)、鎮痛薬のフェナセチン(phenacetin)、および、中枢神経興奮薬のカフェイン(cafeine)が含まれている固定配合剤(fixed-combination drugs)の商品名である。他の商

品名のものには、*Buff-A Comp*, *Butal Compound*, *Isollyl*, *Lanorinal*, *Marnal*, *Protension*, *Tenstan*などがある。頭痛ほかの痛み止め薬。飲酒中や妊娠中に使用を控えることが厳しく警告されている。副作用は：light-headedness, dizziness, sedation, nausea, vomiting, sweating, stomach upset, loss of appetite, mild stimulationなど。この例文中に“it just makes me throw up”とあるのも、この副作用のこと。

また、*Midrin*は交感神経作用薬のイソメテプテン(isometheptene)、催眠薬のジクロラルフェナゾン(dichloralphenazone)、および、鎮痛薬のアセトアミノフェン(acetaminophen)が含まれている中枢神経系の固定配合剤の商品名で、(偏)頭痛の治療に使用されるものである。

John Deere

Traffic was heavy and slow, and sometimes forced almost to a standstill as a monstrous *John Deere* of some variety inched along as if the highway were deserted. —C, p. 90

車の流れは遅々として進まず、完全に立ち往生してしまうこともあった。ジョン・ディーア社製のさまざまな種類の巨大なトラクターが、ハイウェイをわがもの顔でのろのろと進んでいるからだ。

John Deere社製の製品には翻訳にあるような巨大なトラクターだけでなく小型の芝刈り機などさまざまなものがあり、山田(1990a)や『リーダーズ・プラス』に解説がある。鹿(deer)のマークを使う。



Kevlar

(1) Commander Penn handed me a high-powered flashlight as we were escorted down by four officers who were husky in *Kevlar* and coats and reflective vests. —PF, p. 101

四人の警官につきそわれて階段をおりていく途中、ペン隊長が強力な懐中電灯を渡してくれた。警官た

ちはみなががっしりした体格で、防弾チョッキやコート、光るヴェストを着こんでいる。

- (2) These paneled *Kevlar*-and-cotton vests weren't nearly as effective, and many cops refused to wear them because they hampered movement. —K, p. 334

いま着けているのはケブラーと木綿を板状にしたチョッキで、効果があるというには程遠いが、多くの警官はこれでも動きの妨げになるからと着るのを拒否するのだった。

『リーダーズ英和』が解説するように、「ナイロンより軽く鋼鉄の5倍の強度をもつとされ、タイヤコード・ベルト・防弾服などに用いられる合成繊維」である。また、山田(1990a)を参照されたい。

McCoy, the real

“Kay.” Wesley slid a thick manila envelope my way. “Autopsy reports, more photos.”

“Laserprints?” I asked, and I was not keen on them, for like dot matrix images, they are satisfactory only from a distance.

“Nope. *The real McCoy*.”

“Good.” —BF, p. 12

「ケイ」ウェズリーがぶあつい茶封筒をすべらしてよこした。「検屍報告書と写真だ」

「レーザー写真？」レーザー写真を見るのは苦手だ。点の集まりで形を示すドット・マトリックスの像と同じように、これらは少し離れたところからでないとはっきり見えないのだ。

「いや。普通の写真だ」

「よかった」

翻訳だけを読んでいても、「ふつうの写真」の部分で原文で *the real McCoy* となっていることは分からないであろう。「本物、本人」の意味で用いられる。語源については、Morris and Morris (1988)にいくつかの説が示されている。あるいは、『研究社—ロングマンイディオム英和』も解説がしっかりしている。さらに、Flexner (1976)も参考になる。

『ジーニアス英和』や『カレッジライトハウス英和』などの学習英和辞典もこぞって収録しているが（解説はない）、いずれにしるこの句の中の“real”が欠落す

ることがあっても、定冠詞“the”は義務的であることを承知しておかなければならない(cf. Spears 1989)。あるいは、Titelman (1996)の情報がよい。⁸⁾

Midrin ⇨ Fiorinal

Nellie, nervous

“Do you know a Detective Trent with Henrico?” I asked.

“Joe Trent. Used to be with K-Nine and got transferred into the detective division after he made sergeant a couple months ago. Sort of a nervous Nellie, but he's all right.” —CU, p. 21

「ヘンライコー警察のトレント刑事を知ってる？」と、私は尋ねた。

「ジョー・トレントか。以前K/9隊にいたやつだな。二、三カ月まえ、巡査部長に昇進して刑事部に移ったんだ。ちょっと意気地がないけど、まあ信用できるやつだよ。」

例文では、Joe Trentという人物のことを *a nervous Nellie* と表現している。「憶病者、用心深い人」のことである。Chapman (1986)は、語源について、アメリカの国務長官だった Frank Billings Kellogg のニックネームからではないかとしている (cf. *nice Nelly*)。)

Oz, as if we were from

Men in denim and boots heaped ribs and pork and shrimp in thick orange sauces on their plates and stared at us *as if we were from Oz*. —BF, p. 215

ジーンズにブーツといういでたちの男たちは、スペアリブやポークやどろっとしたオレンジ色のソースであえたエビなどを皿に山のように盛り、まるで宇宙人でも眺めるような目つきで私たちを見た。

翻訳からでは、原文で *as if we were from Oz* という表現が使われていることが分からない。Ozはアメリカの作家 F. Baum (1856-1919)の児童物語 *The Wonderful Wizard of Oz* (1900)の舞台となった魔法の国(『リーダーズ英和』)であるから、「まるで私たちが魔法の国からやって来たともいいたいな目つきで」のようにした方がより適切である。

Portacrib

- (1) Amanda was sleeping in the family room, in her *Portacrib*. Sarah brought her out for Jacob to see before we eat. —SP, p. 185

アマンドは居間の、簡易ベビーベッドの中で眠っていた。食事の前にサラはアマンドをジェイコブに見せるために連れてきた。

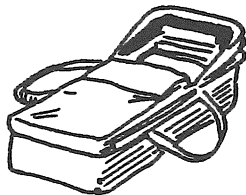
- (2) Twice now, I'd dreamed that she could talk. Both times she was in her *Portacrib* by the kitchen table, eating with a fork and knife.

— SP, p. 322

これまでに二度、アマンドが話すところを夢に見たことがある。どちらのときもアマンドはキッチンテーブルのそばの食事椅子に座って、フォークとナイフで食事をしていた。

語形成が極めて強い形式素(formative)に *porta-* があり、現在も商品名として100を越えるものがあることは山田(1995)で指摘し、*portacrib* はすでに1971年の初例があることを示した。上の2つの例文は同じ訳者が *Portacrib* を例文(1)では「簡易ベビーベッド」、例文(2)では「食事椅子」と訳しているところで、実体が分かっていないための不手際である。LDCE³ や LDEL C (s.v. *bed*) の図が参考になり、イギリス英語では *carrycot* であることも分かる。オーストラリア英語では *bassinet* であることは CIDE (s.v. *carrycot*) が明示する。『リーダーズ・プラス』は「[[商標]ポータクリブ(乳児を寝かせたまま手に下げて運べるようになったベッド)』として収録したが、日本語の「ベッド」には違和感がある。

carrycot BrE/*portacrib* AmE



Raggedy Andy red

“What about his hair?”

“He was wearing a baseball cap, so I didn’t see much of it. But I got the impression it was a really terrible red. A *Raggedy Andy* red. I can’t imagine who got hold of him, but he ought to sue for malpractice.” —PF, p. 254

「髪の毛は？」

「野球帽をかぶっていたんでよく見えなかったが、赤毛だったように思うね。それも、ものすごい赤。ぬいぐるみのアンディみたいな。どこで染めたのか知らないけど。あれは訴訟もんだね」

原文にある *Raggedy Andy* が、アメリカの作家 John Gruelle (1880–1938) の童話の主人公 *Raggedy Ann* のボーイフレンドであることは、『リーダーズ英和』や『ランダムハウス英和』の *Raggedy Ann* の項の記述から分かるが、それが red という色とどう結びつかははつきりしない。これに基づいて作られた人形についてはよく知られているが、赤毛については田崎(1994)にも手がかりはない。山田(1990a)では *Raggedy Ann* が赤毛であることは記述されている。さらに、LDEL C (s.v. *Raggedy Ann*) の記述から、ボーイフレンドの *Raggedy Andy* も赤毛であることが推測できる。

Rolodex

Our Rolodex® desktop directory/organizer remembers and dials 700 phone numbers.



Think you'd be lost without your old desktop files? We bet you could never do things like this!

- Stores up to 700 files with name and company cross-referencing
- Provides one-button dialing of stored phone numbers
- Has rotary knobs for flipping through files, plus a powerful electronic search mode
- 85,000-word spell checker
- Shares data with compatible discettes via IR beam and links to a PC with available interface

To order, or for the location of a store near you, call:

1-800-THE-SHACK™

RadioShack
You've got questions. We've got answers.®

\$699⁹⁹
785-0830A

- (1) They checked their *Rolodex* and came up with a current address for him in a town called Valdosta, population around thirty-five thousand, county seat of Lowndes County, not too far from the Florida border. —R, p. 170

彼らは組合員名簿を調べてくれた。彼の現住所はヴァルドスタという町で、人口はおよそ35,000、ローンデス郡の郡都で、フロリダ州境からそうはなれていない。

(2) When Marshall picked up his *Rolodex*, he thought for a moment of asking the Security officer to remove the phone numbers he thought should be classified. But then another notion struck him. —D, p. 581

マーシャルはロロデックスをつまみあげると、警備主任に機密扱いの電話番号をはずしてもらおうかと一瞬思った。しかし、すぐ別の考えがひらめいた。

(3) Dr. Jenrette flipped through cards in his *Rolodex* and reached for the phone. I watched him dial. —BF, p. 89

ジェンレット医師はデスクの上の回転式ファイルにおさめられたカードをばらばらとめくってから、電話に手を伸ばした。彼がダイヤルするのを私は見守った。

例文(1)の翻訳では、原文にある商品名も、「組合員名簿」を具体的にどのようにして調べたのかも分からない。例文(2)の翻訳では、「ロロデックスをつまみあげる」という日本語訳が適切とはいえない。例文(3)の翻訳では、商品名を出さずに「回転式ファイル」としているが、『最新情報』にある図が参考になる。詳しくは山田(1990a)にある。

Rudolf's nose, as red as

"Michele has never been good at lying. From the time she was a little girl she would stare down at her feet and turn *as red as Rudolf's nose*." —CU, p. 235

「ミシェルは昔からうそをつくのが苦手だね。子供の頃から、うそをつくと下を向いて真っ赤になるんだ」

翻訳からは、*as red as Rudolf's nose* という表現が使われていることは分からない。Rudolf は、J. Marks 作詞・作曲(1949)によるクリスマス・ポップス「Rudolf the Red-Nosed Reindeer」(「赤鼻のトナカイ」)に登場する Santa Claus が乗るそりを引くトナカイの名前である。

1964年に初めて放映されて以来クリスマス時期には米国CBSの子供向けクリスマス番組で放映されているアニメ映画の題名も *Rudolf, the Red-Nosed Reindeer*

である。Arthur Rankin, Jr. と Jules Bass が製作担当。ナレーターは Burl Ives である。

StairMaster

(1) We each drank a little. Around us the after-work social scene whirled in a montage of pastel neckties and white pantyhose and perfume and cologne and cocktails, and talk of *StairMasters* and group therapy and recent movies. —DD, p. 213

私たちはまた少し飲んだ。回りで退社後の社交場面が展開されていて、パステル調ネクタイ、白のパンティストッキング、香水、コロン、カクテル、ステア・マスターズ、グループ・セラピー、最近の映画の話などがモニター・ジュ画面のように渦巻いている。

この例にある表記は作者の思い違いと思われる。

(2) "No, thanks. I'd rather use the *StairMaster* and weights or go running. Why don't you take lesson from Ted while I work out, and we can go together." —CU, p. 87

「せっかくだけど、いいわ。あたし、^{足踏み運動器具}ステアマスターやウエートを使った運動かランニングをするから。あたしがトレーニングしてる間、おばさんがテッドのレッスンを受けたら? そしたら一緒に行けるじゃない」

例文(1)の翻訳では、*StairMasters* が片仮名書きに直されているだけでそれがどのようなものなのかははっきりしない。また、商品名 *StairMaster* が *StairMasters* と誤解されるおそれがある。次の広告にあるような器具。

STAIRMASTER... ALWAYS A STEP AHEAD

Nothing Gives You Better Results Than a Stepper from StairMaster.

The unique machine you've come to depend on — with its patented step action. Safe for all ages and fitness levels — used in thousands of health clubs and medical facilities worldwide.

Don't settle for imitations! Now you can have the real thing. The Latest Stepper from StairMaster factory-direct for your home gym.

So call now. You're just one step away from the aerobic workout that can help you look and feel better than you ever imagined!

StairMaster

FOR A FREE VIDEO AND CATALOG...
Call 1-800-STAIR-99
(1-800-782-4799) Dept. 174

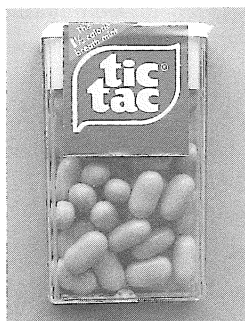
©1991 StairMaster, Inc. All rights reserved. StairMaster is a registered trademark of StairMaster, Inc. All other trademarks are the property of their respective owners.

Tic Tac/tic tac

By the time the plane took off, Franklin had passed out. His head had dropped to my shoulder, and he had put his arms around me. Eventually, I had to go to the bathroom, but I couldn't move. "Franklin," I said, shaking Jim as hard as I could. "Wake up!" But he was dead weight, and I couldn't move. By the time we landed, my bladder was about to break. He had drooled all over my shoulder, and when he finally sat up, his eyes were as red as his sweatshirt, and his breath was reeking. "Get yourself together," I said, and handed him some *Tic Tacs*. —DA, p. 184

飛行機が離陸する頃には、フランクリンは完全に意識を失っていた。頭を私の肩にのせて、両腕を私に巻きつけている。トイレに行きたくなくなったけど、彼がどうしても起きてくれない。「フランクリン！」力いっぱい身体を揺すってみる。「起きてちょうだい！」ぐったりした彼の身体はものすごく重くて、びくともしない。着陸する頃には、膀胱が破裂しそうになっていた。彼は相変わらず、私の肩にぐったりともたれかかっている。ようやく身体を起こしたと思ったら、目がスウェットシャツみたいに真っ赤だ。息が猛烈に臭い。「さあ、しっかりしてちょうだいな」そう言って、〈ティックタック〉のミンツを渡す。

Tic Tac がどのような食べ物かは山田(1990a)で分かるが、訳者は読者向けに「ミンツ」の説明語句を追加しているのがよい。しかし、実際にどのような物であるかは分かりようもない。



Zima

- (1) "What are you offering?" I watched her slight figure bent over, one arm holding open the door while the other slid cans around on shelves.

"Diet Pepsi, *Zima*, Gatorade, Perrier."

"*Zima*?"

"You haven't had it?"

"I don't drink beer."

"It's not like beer. You'll like it."

—PF, pp. 132–133

「何があるの？」ほっそりした体を曲げ、片手で開けたドアを押さえてもう一方の手で棚の上の缶を動かしているルーシーを見守った。

「ダイエットペプシ、ジーマ、ゲータレード、それからペリエ」

「ジーマって？」

「飲んだことないの？」

「私、ビールは飲まないの」

「ビールとは違うの。おいしいわよ」

- (2) He was in the Boardroom, where I tried a *Zima* and he ordered another beer. Lucy was off to find Janet, and this gave Marino and me a few minutes to talk.

"I don't know how you stand that staff," he said, disdainfully eyeing my drink.

"I don't know how I'll stand it either since I've never had one before." I took a sip. It was actually quite good, and I said so.

"Maybe you should try something before you judge it," I added.

"I don't drink queer beer. And I don't have to try a lot of things to know they ain't for me."

....

"Just poke me if I start falling asleep at the wheel," he said. "Or you can drive. Those things you're drinking probably don't have any booze in them anyway."

"They have enough. I won't be driving, and if you're that tired, perhaps we should stay here."

—PF, pp. 151–152

マリーノは食堂にいた。私はそこでジーマを飲ん

でみることにした。マリーノはもう一本ビールを頼んだ。ルーシーはジャネットを探しにいったので、その間マリーノと二人で話をする機会ができた。

「よくそんなもん飲めるな」うえっという顔で私の飲み物を見ながら、マリーノが言った。

「飲めるかどうかわたしにもわからないわ。はじめてなんだから」一口飲んでみた。意外においしい。マリーノにもそう言ってやった。

「批判する前に、試してみたほうが良いと思うわ」と、ついでに言った。

「おかまが飲むようなビールはごめんだね。それにだいたいのは、試してみなくとも俺には向かないってわかってらあ」

[中略]

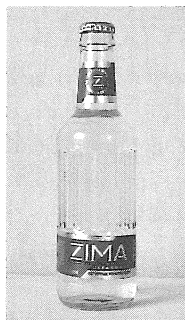
「運転しながらとうとしだしたら、つついてくれよな。さもなきゃ、あんたが運転するか。あんたが飲んでるそれ、アルコールは入ってないんだろ」

「ううん、かなり入ってるわ。私は運転するつもりないし、あなたもそんなに疲れているなら、今日はここに泊まったほうが良いかもね」

ここに登場する *Zima* とは、Tennessee 州 Memphis にある Zima Beverage Co. 製の、麦芽をベースにした天然風味(natural flavors)で無色透明のアルコール性飲料である。ビン入りで1本の内容量は12オンス、アルコール分4.6%。

ビンのレーベルには、“(1)According to the Surgeon General, women should not drink alcoholic beverages during pregnancy because of the risk of birthdefects. (2) Consumption of alcoholic beverages impairs your ability to drive a car or operate machinery, and may cause health problems.” という Government Warning が印刷されている。

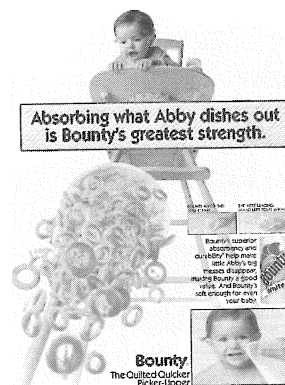
醸造過程はビールと同じだがその後でビールに特有の



色、風味、泡、あと味を濾過して取り除く。1992年9月にNew York州Syracuse, California州Sacramento, Tennessee州Nashvilleで試験的に発売され、1994年2月に全米で販売されるようになった。*Zima* はロシア語で“winter”あるいは“cold”を意味する。⁹⁾

Notes:

- 1) これは *Bounty* [ペーパータオルの商品名] のモットーである “The Quilted Quicker Picker-Upper” [下線は筆者]の下線部の表現を誤って生半可な言語知識に基づいて解釈したこと、*Bounty* そのものを知らなかったという知識の欠落から生じたものであった。



- 2) 医学用語を扱う翻訳家が経験を述べている：(1)布施由紀子「医学用語への挑戦 Entertainment—医学用語頻出娯楽小説の恐怖」『翻訳の世界』Vol. 20, No. 21, 1995年11月号, pp. 32-33；(2)金沢泰子「医学用語への挑戦 Nonfiction—医学書ではなく、物語を語るように」前掲誌, pp. 34-35。

田中(1996b)が取り上げたものは：Ambu(bag), Band-Aid, Ben Casey and Dr. Kildare, Blue Cross and Blue Shield, Coumadin, Joe Gannon and Marcus Welby, Junior Tylenol, Kardex, などである。

- 3) *babywipe* は, Ayto (1989)が初めて収録したが、これはイギリス英語から *Daily Telegraph* (July 28, 1988)の用例であった。注記によると、*babywipe* という商品は1980年にイギリスに入ったという。この辞書の定義が正確でよい：

a disposable moisturized medicated paper-towel for cleaning babies (eg when changing nappies, or for sticky finger)

これを見ても、英和辞典の定義・解説が一面すぎる

ことが分かる。

- 4) Shindler と他の 2 名の個人的な印象を述べたものではあるが、例えば『リーダーズ・プラス』などに解説されている各新聞のそれでは分からない読者層が見えてきて、偏見だとして捨てることはできない(cf. *Verbatim*, Vol. 22, No. 2, p. 11; Vol. 22, No. 4, p. 19)。
- 5) 固有名詞の動詞への主に臨時的な品詞転換の現象に注目したものに Ross (1996)がある。

She was *Christian Dior*ed from head to foot.
(彼女は頭のとっぺんから足の先まで全身クリスチャン・ディオールのブランドもので飾っていた) [Christian Dior(1905-57)はフランスのデザイナー]

I'm going to *Ajax* the sink next.(つぎには流しをエージェクスで磨く) [Ajax は 米国 Colgate Palmolive 社製の洗剤]

You can do it when you *B&Q* it.(B&Q で日曜大工をすれば自分で作れます) [B&Q は英国の日曜大工・園芸用品のチェーン店]

She *barbified* herself to go out that evening.
(その晩, [男性の好みに合うよう]可愛く着飾って出掛けた) [Barbie Doll は金髪・碧眼のプラスチック製人形で, この Barbie から]

We were given a *bovrilized* version of the report. (その報告書の重要な部分のみの抜粋をもらった) [牛肉エキス(concentrated beef extract)の Bovril から]

Please *Sellotape/Scotch-tape* the envelope.
(その封筒をセロテープ/スコッチテープで封をして下さい) [Sellotape は英国の, Scotch-tape は米国の粘着テープの商品名]

Don't just book it, *Thomas Cook* it!(ホテルや切符の予約はすればよいというものではありません。トマス・クック社にお任せあれ!) [Thomas Cook は英国の旅行代理店のスローガン]

You should *Vaseline* your hair down.(ワセリンですっきりと髪の手入れをなさってください) [Vaseline という名のヘアトニックがある]

The pocket flap was *Velcroed* shut.(ポケットのふたはマジックテープでしっかりと留めてあった) [Velcro はナイロン製付着テープで, ジッパーやボタンなどの代わりに幅広く

使われている]

- 6) この事件は米国マスメディアで異例の騒ぎを引き起こし「ニュース報道のショー化」が問題になった。裁判の初日, 2 日と, 被告の写真入りで *Washington Post* 紙も一面で大きく報道した。テレビは CNN が裁判のほとんどを実況中継した。この間の状況を簡潔にまとめたものがある(「夫の性器切り取り事件に米メディア異例の大騒ぎ」『朝日新聞』1994年1月21日付, 朝刊, p. 29)。

7) さらに詳しくは『週刊マザーズ・ケースブック』第4号(アメリカ横断女子大生連続殺人テッド・バンディ)。省心書房, 1995年10月24日号。

8) Broukal, Milada(1994), *Idioms for Everyday Use: The Basic Text for Learning and Communicating with English Idioms* (Lincolnwood, Ill.: NTC) は, 現代英語のイディオムの習得をねらった教材であるが, その Unit 5 "Idioms from People" では, *the real McCoy* の他に *keep up with the Joneses* や *Tom, Dick, or Harry* などを取り上げている。

9) *Zima* についてはインターネット上で情報が入手できる(<http://www.zima.com/re.html>)。

Texts: ([]内は本文で使用した略語を示す。引用文の日本語訳は原則として邦訳を使用した。)

Benchley, Peter, *White Shark*. St. Martin's Press, 1995.(風見 潤 訳, 『海棲獣』角川ホラー文庫, 1995) [WS]

Cornwell, Patricia D., *Cruel & Unusual*. Avon Books, 1994.(相原真理子 訳, 『真犯人』講談社文庫, 1993) [CU]

_____ *The Body Farm*. Berkley Books, 1995.
(相原真理子 訳, 『死体農場』講談社文庫, 1994) [BF]

_____ *From Potter's Field*. Berkley Books, 1996.
(相原真理子 訳, 『私刑』講談社文庫, 1995) [PF]

Grisham, John, *The Chamber*. Island Books, 1994.(白石 朗 訳, 『処刑室』新潮社, 1995) [C]

Hunter, Evan, *Criminal Conversation*. Warner Books, 1994.(田村隆一 訳, 『盗聴された情事』新潮文庫, 1995) [CC]

McBain, Ed, *Rumpelstiltskin*. Ballantine Books, 1982.(石田善彦 訳, 『黄金を紡ぐ女』ハヤカワ文庫, 1989) [R]

- _____ *Widows*. Avon Books, 1991.(井上一夫 訳, 『寡婦』早川書房, 1993)[W]
- _____ *Kiss*. Avon Books, 1992.(井上一夫 訳, 『キス』早川書房, 1994)[K]
- McMillan, Terry, *Disappearing Acts*. Pocket Books, 1989.(松井みどり 訳, 『えくぼ消さないで』新潮文庫, 1995)[DA]
- Parker, Robert B., *Double Deuce*. Berkley Books, 1993.(菊池 光 訳, 『ダブル・デュースの対決』早川書房, 1993)[DD]
- Segal, Erich, *Doctors*. Bantam Books, 1989.(広瀬 順弘訳, 『ドクターズ』角川文庫, 1993)[D]
- Smith, Scott, *A Simple Plan*. St. Martin's Press, 1994.(近藤純夫 訳, 『シンプル・プラン』扶桑社, 1994)[SP]
- Willeford, Charles, *Miami Blues*. Ballantine Books, 1985.(沢 万里子 訳, 『マイアミ・ブルース』創元推理文庫, 1987)[MB]
- _____ *The Shark-Infested Custard*. New York: Dell, 1993.(浜野アキオ 訳, 『危険なやつら』扶桑社, 1996)[SC]
- References:
- (i) ([]内は本文で使用した略語)
- Cambridge International Dictionary of English*. Cambridge: Cambridge University Press, 1995. [CIDE]
- Longman Dictionary of Contemporary English*. Third edition. Harlow: Longman, 1995. [LDCE³]
- Longman Dictionary of English Language and Culture*. Harlow: Longman, 1992. [LDEL^C]
- Random House Webster's College Dictionary*. New York: Random House, 1995. [RHWCD]
- Webster's New World Dictionary*. Third college edition. New York: Prentice Hall, 1994. [WNWD³]
- 『研究社—ロングマン イディオム英和辞典』研究社。1989。[『研究社—ロングマンイディオム英和』]
- 『最新英語情報辞典』第2版。小学館。1986。[『最新情報』]
- 『小学館ランダムハウス英和大辞典』第2版。小学館。1994。[『ランダムハウス英和大』]
- 『リーダーズ英和辞典』研究社。1984。[『リーダーズ英和』]
- 『リーダーズ・プラス』研究社。1994。
- (ii)
- Anderson, Kenneth N.(ed.)(1994), *Mosby's Medical Nursing, and Allied Health Dictionary*. Fourth edition. St. Louis: Mosby-Year Book.
- Ayto, John(1989), *The Longman Register of New Words*. Harlow, Essex: Longman.
- Brooks, Tim and Earle Marsh(1995), *The Complete Directory to Prime Time Network and Cable TV Shows 1946—Present*. Sixth edition. New York: Ballantine.
- Chapman, Robert L.(1986), *New Dictionary of American Slang*. New York: Harper & Row.
- Flexner, Stuart B.(1976), *I Hear America Talking*. New York: Van Nostrand Reinhold.
- Morris, William and Mary Morris(1988), *Morris Dictionary of Word and Phrase Origins*. Second edition. New York: Harper & Row.
- Ross, Nigel J.(1996), "A Proper Look at Verbs," *Verbatim*, Vol. 22, No. 4, Spring 1996, pp. 4-5.
- Spears, Richard A.(1989), *NTC's Dictionary of American Slang and Colloquial Expressions*. Lincolnwood, Ill.: NTC.
- Titelman, Gregory (1996), *Random House Dictionary of Popular Proverbs and Sayings*. New York: Random House.
- Worth, Fred L.(1977), *The Complete Unabridged Super Trivia Encyclopedia*. New York: Warner Books. (渡辺洋一・リチャード・B・マート(監訳)(1988), 『スーパートリビア事典』研究社出版)
- 田中芳文(1996a), 「病院の中のことば」『英語教育と英語研究』第13号, 島根大学教育学部英語教育研究室, pp. 63-79.
- _____ (1996b), 「病院における英語表現」『島根県立看護短期大学紀要』第1巻, pp. 55-64.
- 田崎清忠(編著)(1994), 『アメリカ日常語辞典』講談社。
- 筈見有弘(監修)(1993), 『外国俳優大事典』芳賀書店。
- 山田政美(1982), 『現代アメリカ語法—フィールドノート—』研究社出版。
- _____ (1990a), 『英和商品名辞典』研究社。

- _____ (1990b), 「ことばと文化—アメリカ英語文化の研究—」 澤田治美(編代)(1990), 『ことばと文学と文化と』 安藤貞雄博士退官記念論文集, 英潮社新社, pp. 389-402.
- _____ (1993), 『現代アメリカ英語を追って』 こびあん書房。
- _____ (1995), “*Bounty* is a pickup truck. -Not!” 『英語教育と英語研究』 第12号, 島根大学教育学部英語教育研究室, pp. 23-55.
- _____ (1996), 「翻訳の思わぬハードル固有名詞」 『翻訳の世界』 Vol. 21, No. 3, 1996年2月号, pp. 12-13.
- _____ ・山本 昭・山本文子(1983), 『現代アメリカ名詞辞典』 荒竹出版。